

## 応用使用症例① ニュー ST ロックの保隙装置への応用

福岡県福岡市 かわたに歯科 上原 美智也先生

日常の臨床において多くの矯正医や小児歯科医が fig1 の様な第二乳臼歯の早期脱落により先に萌出した第一小臼歯が遠心傾斜し、第二小臼歯の萌出スペースに問題を抱えた症例に遭遇する。この様な症例への対応として、ブラケットを装着しオープンコイルやループを用いて第二小臼歯のスペースの確保をし、保隙を行うのが一般的であった。上記のような症例に遭遇した際にニュー ST ロックを用いて簡単に萌出スペースの確保および保隙を行う方法を今回は紹介する。

同側第一大臼歯にバンディングを行い印象採得、作業模型の製作後、第一大臼歯バンドの類側にニュー ST ロックを近心向けにロウ着を行う (fig 2-1,2)。

ST ロックワイヤ部分に歯肉や可動粘膜に影響を与えない程度の脚長のヘリカルループを付与し、第一小臼歯遠心に沿わせる。その際に、第一小臼歯遠心歯面に接する

ワイヤーはスペース確保のためループ活性化を行うことにより、第一小臼歯遠心歯周組織への食い込みを防止するため、遠心歯基部歯肉面より 2~3mm 浮かせた状態で遠心面に接触させる (fig3-1,2)。

装置を患者口腔内にセットし、ループを開くように活性化を行い、第一小臼歯を本来の萌出位置である近心への移動を行う (fig 4)。

第二小臼歯の十分なスペースが確保されたら、活性化を中止し、そのまま保隙装置として用いる。

従来の両端がロウ着されているクラウンループやバンドループに比べ、今回紹介した装置は単純な保隙のみでなく、積極的なスペースの拡大および永久歯の萌出に合わせたループ部の調整が簡単に行え、臨床上有用と思われる。

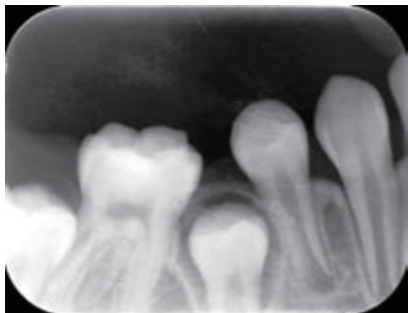


Fig1



Fig2-1



Fig2-2



Fig3-1



Fig3-2



Fig4

応用使用症例② 当クリニックでのニュー ST ロック利用法

大分県宇佐市開業 宇佐矯正歯科クリニック 松成 篤先生

当クリニックでは舌側弧線装置を中心にリングアタッチメントとしてニュー ST ロックを多用している。ST ロックそのものは歴史のある装置で、医院によってその応用範囲・アレンジも様々である。

ニュー ST ロックの利点としては

- ・来院の都度ニュー ST ロックを介して装置が撤去可能なので、清掃性に優れる。
- ・拡大装置の activation など装置の調整を行う際、ロウ着型の拡大装置と異なりバンドをその都度歯牙から撤去する必要がないので大幅にケアタイムが短縮される。

の 2 点が挙げられる。リングアタッチメントのないロウ着型装置の方が、技工操作の手間は掛からないかもしれないが、ケアタイムを効率よく消化するにはニュー ST ロックはとて有効な装置である。

ニュー ST ロックのラインナップは 3 種類（レギュラー、ミニ、エクステンション）あり、それぞれの症例で異なるフォースシステムに応じ、それぞれを選択的に応用して非常に良い効果を得ている。今回は上顎第一大臼歯の遠心



Fig1



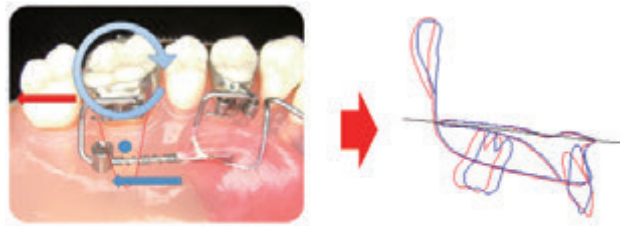
Fig2

移動への応用例を報告する。

第一症例は上顎左右第一大臼歯の近心傾斜と第二乳歯遠心部への半埋伏症例である。第一大臼歯の整直に ST ロックエクステンションを応用した舌側弧線装置を利用した。左右第二乳歯にバンドを装着し舌側弧線装置の維持歯とし、第一大臼歯遠心部へアームを延長。第一大臼歯咬合面にリングボタンを装着後、エラスティックチェーンにて矯正力を付与し、約 3 か月で整直を完了した (Fig1)。

第二症例は上顎左右側切歯の先天性欠如の症例である。診断の結果、上顎左右第一大臼歯より遠心移動を順次行い、左右側切歯を暫間的に補綴・保定の計画を立案。Fig2、3 のように第一大臼歯の頬側と口蓋側にスプリングを付与し遠心移動を行うフォースシステムとしたが、特に口蓋側は ST ロックの主線を口蓋深部に沿わせることで歯の回転中心近くに矯正力を付与する結果、左右大臼歯の歯体移動が達成できた (Fig2、3)。

上記で紹介した使用例の他にも、3 種のラインナップの組み合わせで他にも様々な使用方法が生まれるのではないだろうか。市場に出ている多種のリングアタッチメントの中でも、ニュー ST ロックは応用範囲の広い優れた装置であると言える。



バックアクションの主線にオープンコイルが作用すると、歯冠に mesial tip rotation が作用するため歯体移動が生じやすくなる。また、over rotation は頬側のコイルでキャンセルも可能である。

大臼歯の歯体移動を確認

Fig3

販売名：ニューSTロック 一般的名称：歯列矯正用ロック 医療機器認証番号：21300BZZ00246000 医療機器の分類：管理医療機器（クラスII）  
製造販売：株式会社モリタデンタルプロダクツ 栃木県大田原市下石上1382番地11 発売：株式会社 JM Ortho 東京都千代田区神田駿河台 2-2 御茶ノ水杏雲ビル 14F

【販売元】

株式会社 JM Ortho

〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台 2-2 御茶ノ水杏雲ビル 14F  
T. 03-5281-4711 F. 03-5281-4716  
<https://www.jmortho.co.jp>